

天災始末記
～我が家と我が町の台風 15 号～

9月8日(日)曇り時々晴のち雨

天気予報では台風 15 号が夜中に襲来することを告げていた。襲来前に帰宅可能と踏んで、午後から東金文化会館へ。東金吹奏楽団の定期演奏会は無事終了して夕刻帰宅。

台風で飛ばされることがないように、ベランダの常設品を片付けて夜を迎えた。暗闇の進行とともに空模様は怪しくなり、就寝時刻頃には風と雨が・・・。

深夜襲いかかった暴風雨は、叩きつけるように降り、渦を巻くように吹き荒れていた。窓から見える景色に灯りが見えなかったので停電になった模様。

9月9日(月)快晴

朝になっても吹き返しの強風が吹き荒れて、風が止む頃になったら酷暑が迫ってきた。ニュース報道によると、千葉市の昨晚の瞬間最大風速は 60m/s とのこと。

被害状況の確認を開始。水道・ガスは使用可能な状態だが、電気が来なければ機能しない物が沢山ある。風呂を沸かすことはできないし、電話機も動作しない。近所の家で「こういうことも想定して風呂はガスのバランス釜」を使い続けているという人がいるが、正解だった。電話機も、必要以上に機能を盛り付けて、電気回路基板がそれを動かすようになったが、停電になったら「単純な通信機能」のみの確保が考えられていなかったのは失敗だったと思う。

事前に畳んで縛り付け置いたヨシズは損傷もなかったのだが、地上波デジタル放送用のテレビアンテナのポールがグニャリと曲ってしまった。(右画像)折れて倒れ込むと隣家に被害が及ぶので、安全用の紐を結びつけて二次災害の回避策とした。

家の前を走る車がいつもより多いので、気になって近所の偵察に行ったら、公園の巨木が何本か折れて道路に落下、また一部は電線に引っかかったままになっていた。通行できない車が、迂回路として我が家の前を通過していたことがわかった。



(左画像)

時々耳を傾ける携帯ラジオの報道によると、房総半島の中央部がかなりひどい状態になっているようだ。

昼食は明るい部屋を選んで、夕食はベランダで月を見ながら、

酷暑の一日の汚れを落とすべく水シャワーを浴びて、22時に就寝。

9月10日(火)晴

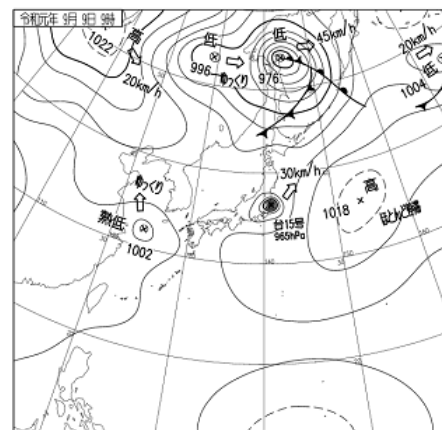
停電はまだ続いている。ラジオが報じる被害情報から想定すると、長期化しそうな気配を感じる。

我が町の「自治会」からも、その下部組織である「4丁目会」からも、何も情報が来ない。

社会福祉協議会は、平素「お年寄りの安否確認」を歌っているが、何も動きは感じられない。

冷蔵庫の中の食品が少しでも長持ちするように、融解して出水することがないように、位置移動の後、中身の点検と移動。

電気が回復したらすぐに動作確認できるように、テレビアンテナの修復手順をまとめて、必要部材をリストアップ。午後、ホームセンターへ行って部材の調達をしたが、国道 16 号線が千葉・市原方面に向



かって大渋滞で全く動かない。裏道を抜けて無事帰宅できたが、しばらくは主要道路には出ない方がよさそうな気がした。

路上で、近所の人と被害状況の確認や情報交換。自治会組織から全く情報発信がないことへの苛立ちがそこら中に渦巻いているようだった。

台風の前に図書館で借りた本の返却期限が明日なので、返却に出向いた。図書館の電源は向かい側にある浄水場と同じ系統から給電されている。浄水場の中には電灯が点いていたので、この系統は復帰して



いるだろうと考えた。酷暑を避けて図書館へ避暑に行く人が多いだろうと想像したが、行って見たら意外なほどに閑散としていて、明るく涼しく、寒いぐらいだった。

夕方八千代台の義姉の家へ行き、夕食と貰い風呂。かみさんは昼間に洗濯にも行っている。暗くなると、することもないので今日も 21 時には就寝。

(小鉢に立てたろうそくの周囲にCDを並べ、三面鏡の前に置くとかなり明るい)

9月11日(水) 晴のち曇り

朝から暑さが襲いかかってくる感じ。そろそろ電源の復旧も近いのでは? と勝手に判断して、朝食の後テレビのアンテナの修復作業に着手。昨日買ってきた径 25.2mm×長さ 1800mm のポールを二本繋いで、グニャリと曲がったポールから外したアンテナ部分(フィッシュボーン)を取付け。アンテナの向きは、これまでと同じ角度にして、通電後に微調整することにした。ベランダのフェンスの上下に金具で固定。部材費は 1500 円弱で終了。

昨日図書館へ行ったら、電気があって明るく涼しいので、近所の老人や子どもがいる家庭、道ですれ違った人に「図書館へいらっしゃったら如何ですか?」とお勧めした。

この手の情報や、被害状況、回復見込みなどの情報を入手して告知することを任務とする自治会組織や防災会が全く機能していない。市から、県からの情報も全く流れてこない。千葉市の実力・我が町の自治会の実力がよくわかった感じがする。

夕方になって、千葉市の防災行政無線放送から「公民館・図書館をご活用下さい」と流れてきたが、公園の一隅のスピーカーから、間延びした「だらしない語り口」では、聞こえもしないし、聞いても理解できない。いかにも、公務員として「情報は流したぞ」とだけ行っているように聞こえた。

近所の親しくしている一人住まいの奥さんをお呼びして、一緒に昼食。その勢いで、夕食も共にすることになり、花見川のとんかつ屋へ。車で 10 数分、そこは光もあり冷房もある別天地だった。

縁起物「かつ」を食べて勇気を得て、水シャワーを浴びて 20 時半には就寝。夕方からの曇天の雲がどんどん厚くなって、予報通りポツポツ降ってきた。近所から車のエンジン音が聞こえるので、おそらく車中泊をしようとしているのだろう。

9月12日(木) 快晴

誰もが想像しなかった「第二の天災」が襲来。昨晚深夜、雷雨と暴風が襲いかかってきた。

雷鳴で目が覚めてベランダに出てみたら、真っ黒な空に雷光が走り不気味な空模様。二階のベランダに設置してあるヨシズを撤去した方が良さそうだと判断して、紐に手をかけた瞬間、突風と雹と雷鳴の後大粒の雨が飛び始めた。

ヨシズが飛ぶと近所に二次災害を与える可能性があるので、必死になって紐を手繰り、何とか家屋への固定ができたが、途中で「バキッ」という音と共に二つ折れになってしまった。この間の印象は、「大風上げ」を体験しているような重量感のあるロープワークだった。

風の動き方と雨粒と雷鳴の状況からして、これは明らかに竜巻だった。パジャマはずぶ濡れで、辛うじてヨシズ対策が片付いた間に、北側の部屋の開いた窓から風雨が吹き込み、四畳半の半分は水浸しになってしまった。暗闇の中で雑巾・バスタオルで応急処置をして、新聞紙を並べてまずは再就寝。

朝食後ヨシズの撤去と転倒したプランターを起こして、発芽したばかりのチンゲンサイの種のまき直し。9 時になって太陽が明るく照り始めたのを見計らって、水浸しの四畳半の復旧作業を開始。

執務机・オーディオラック・パソコンラック・備品棚などを隣室に移動して、絨毯と畳を外してベランダへ。濡れた畳はずっしりと重く、手も足腰も悲鳴を上げ始めた。



しかし、酷暑の一日はありがたいもので、夕方までにはきれいに乾燥して元のレイアウトに戻すことができた。

PCやオーディオ機器もかなり濡れはしたが、電気が来ないと作動確認が出来ないので、拭き取りと風通しの良いところでの乾燥まで。

右隣のS家では、物置が傾いて隣家のフェンスにもたれかかっているのが判明、台風の影響か竜巻の影響かはわからない。気にな



なって我が家の物置も点検してみたら、水平方向に若干回転した形跡があり、エアコンの室外機も同じ方向に少し位置ずれしていた。

左隣のH家では、一人住まいの老母が息子の家へ一時避難中に来た水道メーター検針員が、検針作業の後で困惑顔だったので、声をかけてみた。検針結果が異常値で、どこかが漏水しているようだと言う。台風とは直接関係しないとは思いますが、災厄は続くときには続くものだ。

一時避難先へ連絡をしてあげて、元栓を閉める等の一時措置。

千葉市の防災行政有線放送から「公民館・図書館をご活用下さい」と流れて「公民館については24時間滞在可能です」と報じていた。携帯電話の電池も減ってきたので充電に行こうと思って、公民館に電話をしてみたら、「昨晩の落雷で電源が壊れて停電」とのことだった。

公園脇の倒木の撤去作業は、山形県ナンバーの車も加わって、ようやく終了した。我が家の前の道を通る車の数も激減して、また元の静かな通りに戻った。

今日は深夜（早朝）から日没まで、緊張感のある力仕事が続いて疲れたので、20時前には就寝。

9月13日（金）曇り

昨夜から涼しくなって、いくらか凌ぎやすくなってきた。

朝から道路に出て垣根に腰をおろして涼を貪る人が増えてきた。

9月10日に義姉の家で充電してきた携帯電話の電池残量が50%になってきたので、そろそろどこかへ充電に行こうと思い、図書館と公民館の偵察に出動。公民館の電源設備は復旧しており、いずれも閑散としており待ち時間もなく充電可能な状況だったので、帰宅して昼食。

やや遅めの昼食の後、充電出動の準備を進めていたら電灯が点いた。電気が来ると様々な確認や機器の再設定、レイアウト回復作業で大わらわ。PC・オーディオから冷蔵庫に至るまで、家電製品はすべて正常に動作した。

社会福祉協議会の下部組織のメンバーと思われる人が、リストを見ながらペットボトルのお茶を配って歩いているのが見えた。配布の対象が誰なのかはわからないが、我が家は対象外だったようだ。酷暑中の停電直後には何もアクションが取られなかったのに、通電（復旧）後に、しかも涼しくなってからお茶を配っている光景は、少々異様な感じがした。

団地自治会・4丁目会・防災会・社会福祉協議会などからは何の情報発信もないままに5日目を迎え、復旧に辿り着いた。平時には「町はどうあるべきか？」など高邁な議論を展開するのだが、実際に事が起きてみると全く手も足も出ない。規約の上では自治会・防災会の各担当の役割分担は定められているが、その内容は一切説明されていないし訓練もされていないので、「担当者は何をすべきなのか」すらわかっていないと思う。

「理論だけが先行」で、お座なりな「遊び半分の防災訓練」が何の意味も持たないことを露呈した。関係者は、大きな禍根を残したと思っているだろうか？

明るい所で食べる夕食はひときわ美味しく感じられた。我が町に灯りが戻りはしたが、この時点でまだ県下には、暗闇の生活を強いられている世帯が10万近くあるらしい。自分だけが安心したり喜んだりするのは、少々罪深い感じがするが、ほっとしたら喉が痛くなり、少し咳が出てきた。 以上

◆添付：台風 15 号襲来に伴い地域で処すべき課題（既存の規約の定めに準拠して書き出してみた）

2019 年 9 月

台風 15 号襲来に伴い地域で処すべき課題

日付	出来事（一般の情報）	地域で処すべきであった行動	関係組織	
			4 丁目会	防災会
9 月 8 日	強い台風襲来の警告	大型台風襲来の予告 諸注意事項の流布 高齢者・弱者への早期避難指示	広報部 代議員 広報部 代議員	情報班 広報班 情報班 広報班 避難誘導班
	台風 15 号通過			
9 月 9 日		住民の安否確認 被害状況の確認 被害状況の告知 交通遮断・迂回路設定等の支援 要避難・要支援住民数把握	代議員 代議員 広報部 交通部 代議員	情報班 広報班 情報班 広報班 広報班 避難誘導班
		高齢者・弱者の避難 緊急用食料・飲料水などの配布		避難誘導班 救出救護班 給食給水班
9 月 10 日				
	暴風雨（竜巻？）発生			
9 月 11 日				
9 月 12 日		住民の安否再確認 被害状況の再確認 要避難・要支援住民数再把握 被害状況の告知 必要があれば追加避難	代議員 代議員 代議員 広報部	情報班 広報班 情報班 広報班 避難誘導班 広報班 避難誘導班
9 月 13 日				
	電源復旧			

◆参照資料

① 4 丁目会規約

② 4 丁目防災会規約